

追加募集

平成24年度市民協働推進補助事業企画書

# 記入マニュアル

補助金応募者必携、  
企画書記入のポイントを  
ずばり解説！



(記入例)

記入例の内容はすべて架空のものであり、実際の団体や法令などとは一切関係ありません。

様式第1 (第8条関係)

市民協働推進補助事業企画書

平成24年7月17日

豊橋市長様

所在地 豊橋市今橋町1234  
提出者名称 豊橋ねこだすけの会  
代表者氏名 代表 内藤 雄一郎

次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。

申請区分	(1) 市民活動スタート支援(つつじ)補助金 ② 市民活動ネクスト支援(くすのき)補助金 (3) 市民活動施設整備事業支援(ハード)補助金
事業の区分	①、③、⑤
事業の名称	市民シンポジウム「猫社会での人間達」
実施予定期間	平成24年10月1日から平成25年2月28日まで

会長、代表など役職名がある場合は、氏名の前に記入してください。

応募要領「3 対象となる事業」①~⑰のうちから、当てはまるものを記入してください。

事業の準備を始める日から、事業報告書などを作成し、すべて完了する予定の日を記入してください。

備考 1 「申請区分」欄は、申請する補助金のいずれかひとつ

2 「事業の区分」欄には、応募要領の「3 対象となる事業」のうち、該当するものを記入してください。

3 この企画書には、次の書類を添付してください。なお、(3)、(4)については、市民活動施設整備事業支援(ハード)補助金申請者のみ提出してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

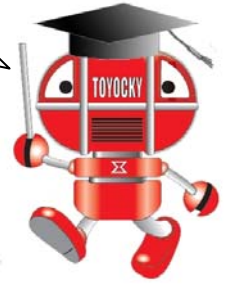
(2) 構成員の名簿

(3) 事業実施の位置図及び工作物等のイメージ図(大きさ、デザインなどがわかるもの)

(4) 工事を業者に依頼する場合は、工事費用の見積書の写し

# 記入要領

手書きの場合は  
見やすく、ていね  
いに書こう。



## 様式第1 (市民協働推進補助事業企画書)

### 【提出者】

所在地：団体の住所を記入してください。複数の事務所が分散している場合などは、その中心になる事務所の住所を記入してください。

名称：団体の正式名称を定款・規約等から記入してください。

代表者氏名：代表者の氏名を記入してください。また、会長、代表など役職名がある場合は、氏名の前に記入してください。

※ この項目は、企画が採用された場合、補助金交付申請書、請求書、実績報告書などにすべて統一して記入いただくこととなりますのでご注意ください。

### 【申請区分】

申請する補助金の区分の番号を○で囲んでください。

### 【事業の区分】

応募要領「3 対象となる事業」①～⑰のうちから、その事業が当てはまるものを選択してその番号を記入してください。複数記入してもかまいません。

### 【事業の名称】

実施する事業の名称を記入してください。

### 【実施予定期間】

「事業に着手する日」から「事業が完了する日」を記入してください。

事業に着手する日とは、事業の準備を始める日です。また、事業の完了日とは、事業実施以後、メンバーで事業報告などを実施し、これですべて完了するという日です。もちろんイベント等で、当日ですべて完了するのであればその日が完了日ということになります。

※補助の対象となるのは、補助事業決定（9月中旬）以降に着手し、平成25年3月31日以前に完了する事業です。

## (記入例)

記入例の内容はすべて架空のものであり、実際の団体や法令などとは一切関係ありません。

様式第2 (第8条関係)

### 公益的社会貢献活動団体概要書

名称	豊橋ねこだすけの会
連絡先	氏名： <small>ふりがな</small> 大林 <small>おおぼやし</small> 都美 <small>とみ</small> 電話番号： 0532-11-1111 FAX番号： 0532-11-1112 メールアドレス： <a href="mailto:tommy-tommy@yappoo.ne.jp">tommy-tommy@yappoo.ne.jp</a>
設立年月日	平成21年2月8日
構成員数	22人(うち役員 3人)
	市内在住(在勤及び在学を含む。)者 20人 その他 2人
設立の経緯	鈴木記念公園を散歩していると捨てられた猫が多数いることに気づかされた。それも避妊手術を施していないため、繁殖し野生化している状況であった。ある日、息子が捨て猫を拾ってきて避妊手術を施し我が家で飼い始めたのをきっかけに猫好きの友人に呼びかけ公園などから悲惨な捨て猫を少しでも減らそうと思い平成21年に会を設立した。
活動の目的	地域の生活区域から野良猫を減らし、里親(特に老人家庭)を見つけ飼ってもらうことで生活環境の浄化と高齢者の生きがいつくり(元気な地域社会づくり)に寄与することと同時に動物との共生社会の創造を目的とする。
主な活動内容	鈴木記念公園周辺の住民を中心とした22名の会員で、随時、公園などの野良猫を保護し避妊手術を施したのち、里親を探し譲り渡す活動を行っている。
年間予算額	650,000円
補助金の状況	団体名 (財)猫だすけ協会 補助金の交付を受けた年度 平成22年度 補助金の名称 吉田動物愛護基金助成金(小動物部門)

書類の内容確認などに使うので、連絡が取れ、内容の分かる方の連絡先を記入してください。

団体の年間予算額を記入してください。

備考 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に豊橋市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

## 記入要領

どんな団体なのか、また、応募資格があるかを確認する書類だよ。



### ◆ 様式第2（公益的社会貢献活動団体概要書）

#### 【名 称】

団体の名称を省略せず定款・規約等から正式名称を記入してください。様式第1の提出者の名称と一致させてください。

#### 【連絡先】

連絡が取れ、内容が分かるメンバーの方の氏名（ふりがな）、電話番号、FAX 番号、メールアドレスを記入してください。連絡の取れる方ですので必ずしも代表者でなくてもかまいません。また、メールアドレスはパソコンのものが望ましいですが、携帯電話へのメールを希望する場合は、アドレスの後ろに（携帯）と記入してください。

#### 【設立年月日】

団体の設立年月日を定款・規約等から記入してください。NPO法人の場合は認証を受けた日を記入してください。ただし、前身となる団体がある場合やNPO法人の場合で任意団体としての活動がある場合にはその団体の設立年月日をカッコ書きで併記してください。

#### 【構成員数】

団体の構成メンバーの人数を記入してください。また、名簿を添付してください。

※応募要件は5人以上の団体です。

#### 【設立の経緯】

団体設立に至った経緯をできる限り具体的に記入してください。

#### 【活動の目的】

団体は、何のために活動しているのか定款・規約等から記入してください。

#### 【主な活動内容】

団体の活動内容をできる限り具体的に記入してください。

#### 【年間予算額】

団体の年間予算額を記入してください。（この事業の予算額ではありません。）

#### 【補助金の状況】

過去5年以内に豊橋市その他団体から補助金を受けている場合に、その団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

## (記入例)

記入例の内容はすべて架空のものであり、実際の団体や法令などとは一切関係ありません。

様式第3 (第8条関係)

### 事業計画書

現状の課題	この活動は理解者の寄付等により実施したいが、周知方法をはじめとして寄付等を受ける仕組みがないため、1頭当たり10,000円～15,000円かかる避妊手術費用は、会員の持ち出しによるところが大きく資金不足に悩んでいる。また、捨てられている猫をはじめとしたペットの現状をほとんどの市民が知らないことが問題である。
事業の目的	①まずは、市民に捨てられている猫の現状を知ってもらうこと。②次にこの活動の理解者を募りネットワークを拡大すること。③行政と協働でペットを救う仕組みを作る足がかりをつくること。
事業の内容	コーディネーターに獣医師の中澤太郎氏、パネラーに新津滝市で行政と協働でこの仕組みづくりを進めている木佐田さん、浅見さんほか3名の方を招いて「猫社会での人間達」と題した捨て猫の現状を考えるシンポジウムを開催する。 参加目標 500人 会場 鈴木記念公園野外音楽堂
事業の日程等	ボランティア募集：10月 ボランティア説明会：11月 ポスター・チラシ配布：12月 最終打ち合わせ：1月初旬 シンポジウム開催：平成25年1月30日10:00
事業の実施体制	豊橋ねこだすけの会、ボランティア30名(公募) (協力：新津滝ねこだすけの会)

実効性

主に該当する審査項目です。

備考 「事業の内容」欄には、事業の実施方法、実施場所等を具体的に記入してください。

○豊橋市と協働を希望する内容(※審査とは関係ありません。)

- ①打合せ等を行うための会場の優先的な確保とイベント当日の机を貸与してほしい。
- ②イベントチラシを学校等に配布したい。
- ③里親探しのネットワークづくり等のために市のホームページ等を利用させてほしい。
- ④ペットとの付き合い方教室など市の講座(出前講座を含む)に組み入れてほしい。
- ⑤将来的には里親探し等の仕組みを市と一緒に創っていきたい。

## 記入要領

事業内容を簡潔にわかりやすく書こう。



### ◆ 様式第3（事業計画書）

#### 【現状の課題】

この事業を企画するに至った背景や認識している課題、問題点をできる限り具体的に記入してください。

#### 【事業の目的】

この事業は何のために行うのか、取組み目標や成果、効果等を踏まえ、具体的に記入してください。

#### 【事業の内容】

事業の全体像がわかるように、内容をわかりやすくできる限り具体的に記入してください。また、イベントやハード補助金の場合はどこで実施する予定なのか記入してください。

#### 【事業の日程等】

事業の取組み予定を時系列で記入してください。具体的にわからない場合はおおよその予定を取組み段階にしたがって記入してください。

#### 【事業の実施体制】

貴団体が単独で実施するのか、もしくは貴団体が中心となって他団体の協力を得ながら実施するのかを記入してください。協力団体等は、具体的にすべて記入してください。

また、ボランティア等を募集するのであればその規模（人数）も記入してください。

#### 【○豊橋市と協働を希望する内容】

この補助金のほかに豊橋市と協働を希望する項目等がある場合は、どんなことでもかまいませんので、その内容をできる限り具体的に記入してください。記入する内容は、申請する事業（企画）に関わることに限らず、今後の活動に関することでもかまいません。

これは、記入された内容を約束するものではありませんが、団体と豊橋市で協働の内容を話し合い、実現に向けてそれぞれの立場でできることを検討する材料とするものです。

※この項目は、審査とは関係ありません。

## (記入例)

記入例の内容はすべて架空のものであり、実際の団体や法令などとは一切関係ありません。

### 様式第4 (第8条関係)

#### 事業効果分析書

事業の公益性 <b>公益性</b>	<p>参加者にねこの現状を周知させることにより理解者が増え、ネットワークが拡大し、野良猫が減って生活環境浄化と高齢者の生きがいづくりに寄与できる。</p> <p>約500人の参加者を見込んでおり、また、運営においても広く市民にボランティア協力を呼びかけ開催する。</p>
事業ニーズの分析 <b>必要性</b>	<p>現在、豊橋市内で年間500匹を超える野良猫が増えている。また、市内の高齢化率は20%を超え、生きがいを見つけれない老人が多数いることが類推でき、軌道に乗れば里親探しの仕組みづくりが十分できるものと考えている。</p>
事業の先駆性 ※つつじ及びくすのき 補助金申請者のみ記入してください。 <b>先駆性</b>	<p>全国的に見ればあちこちで取組みが始まっているものの、この豊橋市においてははじめての取組みであると自負している。</p>
団体の特性発揮度 ※つつじ及びくすのき 補助金申請者のみ記入してください。 <b>専門性</b>	<p>この取組みを始めて間もない団体であるが、昨年、(財)猫だすけ協会の助成事業を受けたことをきっかけに他団体のネットワークもできつつある。</p> <p>メンバーは、長年猫を飼っている主婦が多く活動においても相当の自由度がある。</p>
市民(地域)への波及効果 <b>公益性</b> <b>実効性</b>	<p>現在の捨て猫の現状を専門家の話を交えながら参加した方に知ってもらうことで、猫エイズの伝染をはじめとして猫を捨てる悲惨さを市民に広めることができる。</p> <p>また、今後高齢化が進み増加する老人家庭で里親になってもらうことで動物と一緒に暮らす生きがいを感じられる明るい地域社会の創造の一助となる。</p>
翌年度以降の計画及び発展性 <b>継続性</b>	<p>現在の活動は継続しながら、平成25年を目標に里親探しのネットワークをつくり、捨て猫と里親のマッチングのための仕組みを行政と協働で構築したいと考えている。また、財源確保のために寄付の仕組みを作っていきたいと考えている。</p>



## 記入要領

審査にもっとも直接的に影響する書類だよ。



### ◆ 様式第4（事業効果分析書）

#### 【事業の公益性】

本事業を行うことにより、どのような方（対象）にどのような利益をもたらすのか記入してください。

また、事業実施に当たって、どの程度の市民が参加して、どの程度の市民が係わることになるのか記入してください。

#### 【事業ニーズの分析】

事業のニーズがどの程度あるのか、また、直接的ではなくてもこの事業が必要だと考える背景等をどのように分析しているか記入してください。

#### 【事業の先駆性】 つつじ補助金・くすのき補助金のみ

事業の先導性や先見性、独自性などを記入してください。他でも同じような取組がある場合、どこに先駆性があるのかを記入してください。

#### 【団体の特性発揮度】 つつじ補助金・くすのき補助金のみ

事業実施に当たって、団体の特性がどのように発揮されるのか、また、類似の他団体と比較しどこに優位性があるのかを記入してください。

#### 【市民（地域）への波及効果】

事業を実施することにより、地域の活性化等にどう役立つのかを記入してください。

#### 【翌年度以降の計画及び発展性】

翌年度以降、どのような展望を持ち、どのように活動していくのかを記入してください。（この事業を継続するのかも含めて）

# (記入例)

記入例の内容はすべて架空のものであり、実際の団体や法令などとは一切関係ありません。

様式第5 (第8条関係)

収支予算書

実効性

収入

単位：円

費目	金額	内訳
市民協働推進補助金	100,000円	
自己資金	40,000円	会費
参加料	50,000円	500人×100円
寄付金	10,000円	
合計	200,000円	

右ページの費目欄を参考に

支出

単位：円

費目	金額	内訳
報償費	15,000円	謝礼(コーディネーター:5,000円、パネラー:2,000円×5人)
旅費	45,000円	運賃2,980円、宿泊6,000円 5人分
需用費	90,000円	チラシ:1000枚、ポスター:100枚、当日資料代、コーディネーター・パネラー昼食代
役務費	2,000円	郵送料
使用料及び賃借料	48,000円	会場使用料10,000円 音響機材38,000円
合計	200,000円	

収入と支出の合計は必ず一致させてください。

支出で千円未満の端数がある時は切り上げてください。

金額欄は円単位の記入ですが、千円未満の端数が出ないように調整して記入してください。

# 記入要領



## ◆ 様式第5（収支予算書）

### 【収入】

費目欄：市民協働推進補助金、自己資金、協賛金、寄付金、広告収入、入場料、参加料などの区分で記入してください。

金額：費目欄の区分ごとに千円未満の端数が出ないようにして円単位で記入してください。

内訳：必要に応じ、算出基礎等を内訳欄に記入してください。

### 【支出】

費目欄：下記の表（1または2）の費目ごとに記入してください。

金額及び内訳：収入に同じ

表1：つつじ補助金・くすのき補助金補助対象経費

費目	主なもの
1 報償費	講師・専門家等への謝礼等 ※個人に対して謝礼を支払う場合は、源泉徴収の手続きが必要になります。
2 旅費	交通費、宿泊費等
3 需用費	消耗品費、資材・書籍等の購入費、チラシ・ポスター等の印刷製本費等
4 役務費	翻訳・原稿料、通信運搬費、保険料等
5 使用料及び賃借料	会場使用料、車両・物品・器具等のレンタル・リース料等
6 備品購入費	2万円以上で反復使用に耐えるものの購入費（ただし、事業に不可欠とされるもの）
7 その他の経費	その他市長が必要と認める経費

備考 次の経費は補助対象経費としない。

- ・ 団体の運営に関する事務費などの経常的な経費
- ・ 団体の事務所等を維持するための経費
- ・ 団体の構成員に対する人件費や謝礼
- ・ 団体の構成員に対する食糧費・交通費・宿泊費

表2：ハード補助金補助対象経費

費目	主なもの（いずれもハード事業に直接必要なものに限る。）
1 需用費	材料の購入費、機材等の燃料費
2 委託料	設計・測量・デザインなどの委託料 ※平成24年度中に行われるハード事業に直結するもののみ対象
3 使用料及び賃借料	車両・機材・器具のレンタル・リース料
4 工事請負費	業者に工事を依頼する費用
5 原材料費	セメント・砂利・鋼材・木材等の工事資材
6 その他の経費	その他市長が必要と認める経費

備考 次の経費は補助対象経費としない。

- ・ 団体の運営に関する事務費などの経常的な経費
- ・ 団体の事務所等を購入、整備、維持するための経費
- ・ 会議、ワークショップ、イベント、講座などを開催するための経費
- ・ 人件費、謝礼、旅費、事務用品の購入費、食糧費、印刷製本費、備品・工具等購入費、調査費など事業実施に直接係わらない経費